



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 博俊
社長執行役員

問合せ先責任者 (役職名) 事業管理本部事業統括部 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311
執行役員

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	115,349	△2.9	8,426	△16.9	3,882	△66.2	1,811	△74.8
28年3月期第2四半期	118,821	8.1	10,139	6.4	11,474	△6.2	7,195	△2.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期△13,076百万円(-%) 28年3月期第2四半期 5,330百万円(△55.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	31.64	31.60
28年3月期第2四半期	125.64	125.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	275,882	150,443	51.2
28年3月期	292,130	164,847	52.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 141,327百万円 28年3月期 154,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
29年3月期	—	17.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△1.5	15,500	△14.3	12,000	△26.7	7,500	△18.0	130.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年11月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	60,907,599株	28年3月期	60,907,599株
29年3月期2Q	3,644,098株	28年3月期	3,640,769株
29年3月期2Q	57,265,385株	28年3月期2Q	57,270,332株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年11月28日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、米国では雇用や個人消費の改善により穏やかな景気拡大を続けました。欧州ではドイツを中心に個人消費や輸出は堅調に推移しましたが、英国のEU離脱問題により欧州経済の先行きが不透明な状態となりました。また、アセアンやインドなどの新興国では中国市場の景気減速に伴い成長が鈍化し、国内では雇用は改善傾向にあるものの、大きく進んだ円高の影響を受けるなど、世界経済全体としては力強さに欠ける展開となりました。

このような状況において、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる企業体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化と同時に、営業・設計・経営管理など、あらゆる面でのグローバル化を目指し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう「経営のグローバル化」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、円高の影響により115,349百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は、8,426百万円（前年同四半期比16.9%減）、経常利益は、3,882百万円（前年同四半期比66.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,811百万円（前年同四半期比74.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器が米州、アジアで増加したものの欧州で減少し、売上高91,138百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益7,016百万円（前年同四半期比24.1%減）となりました。

民生機器事業は、アミューズメント向け基板ユニット等が減少し、売上高6,018百万円（前年同四半期比23.9%減）となりましたが、営業利益121百万円（前年同四半期は254百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が減少し、売上高9,747百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業利益389百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

その他は、樹脂材料の販売等が増加し、売上高8,445百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益1,049百万円（前年同四半期比56.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16,248百万円減少し、275,882百万円となりました。これは流動資産で現金及び預金が46,897百万円、たな卸資産が1,427百万円増加しましたが、投資その他の資産で、長期預金が57,674百万円、流動資産で受取手形及び売掛金が2,415百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,844百万円減少し、125,439百万円となりました。これは固定負債で長期借入金が1,719百万円増加しましたが、流動負債で支払手形及び買掛金が3,612百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14,403百万円減少し、150,443百万円となりました。これは為替換算調整勘定が13,537百万円減少したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ1,645百万円減少し、39,369百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等がありましたが、税金等調整前四半期純利益3,817百万円の計上等により、6,285百万円の収入超過（前年同四半期は8,183百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が4,955百万円となったこと等により、4,498百万円の支出超過（前年同四半期は4,801百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が5,000百万円となったこと等により、195百万円の収入超過（前年同四半期は3,323百万円の支出超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、平成28年5月13日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、本日（平成28年11月7日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,861	105,758
受取手形及び売掛金	47,261	44,845
商品及び製品	13,091	12,423
仕掛品	3,600	3,270
原材料及び貯蔵品	18,917	21,342
その他	12,250	10,322
貸倒引当金	△189	△234
流動資産合計	153,792	197,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,290	14,499
機械装置及び運搬具(純額)	14,712	13,492
工具、器具及び備品(純額)	4,991	4,625
土地	16,148	15,921
リース資産(純額)	254	253
建設仮勘定	2,155	2,195
有形固定資産合計	53,552	50,988
無形固定資産		
のれん	6	2
その他	3,662	3,652
無形固定資産合計	3,669	3,655
投資その他の資産		
投資有価証券	19,302	18,637
長期預金	58,122	447
その他	3,702	4,436
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	81,115	23,510
固定資産合計	138,338	78,154
資産合計	292,130	275,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,760	29,147
短期借入金	61,693	61,485
未払法人税等	1,327	1,065
賞与引当金	2,132	2,773
役員賞与引当金	70	119
製品補償損失引当金	580	586
受注損失引当金	19	3
訴訟損失引当金	870	782
その他	12,750	12,440
流動負債合計	112,205	108,403
固定負債		
長期借入金	8,460	10,179
役員退職慰労引当金	223	219
退職給付に係る負債	2,985	2,963
資産除去債務	68	64
その他	3,341	3,608
固定負債合計	15,078	17,035
負債合計	127,283	125,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,473	6,473
利益剰余金	120,432	121,205
自己株式	△6,314	△6,320
株主資本合計	135,085	135,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,032	3,631
為替換算調整勘定	15,487	1,949
退職給付に係る調整累計額	△116	△106
その他の包括利益累計額合計	19,403	5,475
新株予約権	80	90
非支配株主持分	10,277	9,025
純資産合計	164,847	150,443
負債純資産合計	292,130	275,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	118,821	115,349
売上原価	92,809	93,416
売上総利益	26,011	21,932
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,642	2,591
従業員給料	5,533	4,427
貸倒引当金繰入額	0	7
賞与引当金繰入額	689	715
役員賞与引当金繰入額	105	119
製品補償損失引当金繰入額	92	40
退職給付費用	285	192
役員退職慰労引当金繰入額	20	20
その他	6,502	5,391
販売費及び一般管理費合計	15,871	13,505
営業利益	10,139	8,426
営業外収益		
受取利息	840	838
受取配当金	190	200
為替差益	96	—
その他	396	285
営業外収益合計	1,525	1,324
営業外費用		
支払利息	157	119
為替差損	—	5,726
その他	32	22
営業外費用合計	190	5,868
経常利益	11,474	3,882
特別利益		
固定資産売却益	68	12
特別利益合計	68	12
特別損失		
固定資産売却損	4	1
固定資産除却損	18	76
特別損失合計	22	77
税金等調整前四半期純利益	11,520	3,817
法人税、住民税及び事業税	3,421	2,210
法人税等調整額	209	△615
法人税等合計	3,630	1,595
四半期純利益	7,889	2,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	694	410
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,195	1,811

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	7,889	2,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,089	△400
為替換算調整勘定	△1,476	△14,908
退職給付に係る調整額	7	10
その他の包括利益合計	△2,559	△15,298
四半期包括利益	5,330	△13,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,778	△12,117
非支配株主に係る四半期包括利益	552	△959

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,520	3,817
減価償却費	4,381	4,070
のれん償却額	52	2
株式報酬費用	10	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	812	667
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	103	48
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	△15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	81
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	61	△11
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△88
受注損失引当金の増減額(△は減少)	47	△16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	100	86
受取利息及び受取配当金	△1,031	△1,038
支払利息	157	119
為替差損益(△は益)	267	3,349
有形固定資産売却益	△68	△12
有形固定資産処分損	22	77
売上債権の増減額(△は増加)	△4,004	△4,447
たな卸資産の増減額(△は増加)	210	△5,508
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,420	△54
仕入債務の増減額(△は減少)	△769	3,605
その他の負債の増減額(△は減少)	1,558	2,132
小計	11,986	6,875
利息及び配当金の受取額	1,026	1,380
利息の支払額	△158	△108
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,670	△1,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,183	6,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	551	1,537
有価証券の償還による収入	300	—
有形固定資産の取得による支出	△5,236	△4,955
有形固定資産の売却による収入	248	86
有形固定資産の除却による支出	△1	△12
無形固定資産、投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△605	△1,082
投資有価証券の取得による支出	△26	△28
貸付けによる支出	△34	△99
貸付金の回収による収入	1	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,801	△4,498

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700	△880
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△2,551	△2,525
リース債務の返済による支出	△65	△84
自己株式の純増減額(△は増加)	△20	9
配当金の支払額	△1,031	△1,031
非支配株主への配当金の支払額	△355	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,323	195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△283	△3,627
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△225	△1,645
現金及び現金同等物の期首残高	39,429	41,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,203	39,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,671	7,907	11,212	110,791	8,029	118,821	—	118,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14	14	7,687	7,702	△7,702	—
計	91,671	7,907	11,227	110,806	15,717	126,523	△7,702	118,821
セグメント利益又は損失(△)	9,244	△254	501	9,491	672	10,163	△23	10,139

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,138	6,018	9,747	106,904	8,445	115,349	—	115,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16	16	7,921	7,937	△7,937	—
計	91,138	6,018	9,763	106,920	16,366	123,286	△7,937	115,349
セグメント利益	7,016	121	389	7,528	1,049	8,578	△151	8,426

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△151百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。